

## 第2次行財政再構築プランの平成26年度末進捗状況 及び 平成27年度当初計画について

行財政再構築の着実な推進を図るため、第2次行財政再構築プランの進捗状況については、庁内の行財政改革推進本部に報告し、評価を受けるとともに、半期ごとに有識者・市民により構成する行財政再構築推進委員会に報告を行い、意見や助言をいただくこととしています。

今回は、各プログラムの平成26年度末の進捗状況に加え、平成27年度当初の計画について、報告します。

### 1 各プログラムの平成26年度末進捗状況

平成26年度末の各プログラムの進捗状況について、スケジュールの進行状況及び成果指標に基づき評価を実施したところ、全62項目（再掲1項目）の取組のうち、3項目が「予定以上に進捗」、49項目が「予定どおりに進捗」、10項目が「予定よりも遅れている」となりました。

【表1】各プログラムの進捗状況（平成26年度末）

分野	予定以上に 進捗 (S)	予定どおりに 進捗 (A)	予定よりも 遅れている (B)
I 地域協働の推進 (15項目)	1	10	4
II 情報の共有と双方向のコミュニケーション (5項目)	0	5	0
III PDCAサイクルの構築 (7項目)	0	5	2
IV 財政基盤の強化 (18項目)	1	13	4
V 執行体制の再構築 (17項目)	1	16	0
計	3	49	10

## 【参考1】着実に進んでいる主な取組（例示）

予定以上及び予定どおりに進捗している取組から、平成26年度末に成果を上げた例をお示します。

### No.1 市民活動支援センターによる市民活動支援の充実

#### 【市民協働・男女参画推進課】

取組の概要	市民自らが市民活動を支援する「市民主体の運営」による市民活動支援センター機能の充実を図る取組	
26年度の年度計画	市民の学習及び交流の機会を提供する事業として学習会及び交流会を年4回開催し、10月にNPOフェスタを開催する。市民活動の情報収集及び発信事業として、「あすぴあ通信」「市民活動団体データ集むすぶ」を発行する。	
26年度末の進捗状況	学習会、交流会、NPOフェスタの開催など、年度当初に掲げた取組を着実に実施。また、成果指標に掲げる利用登録団体数等も当初の目的を達成している。 学習会や交流会を通じて、団体の活動分野や世代に関わらず、多様な主体がつながることで新たなネットワークが構築され、市民活動の活性化に大きく寄与した。	
成果指標の達成状況	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター来場者数：前年比5%以上</li> <li>・相談件数：前年比10%以上</li> <li>・あすぴあ登録団体数：99団体以上</li> </ul>
	26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター来場者：9,856人(3月末現在) 約14.8%増 ※前年度：8,588人</li> <li>・相談件数：71件(3月末現在) 約42.3%増 ※前年度：41人</li> <li>・利用団体登録団体：113団体(3月末現在) ※前年度：97団体</li> </ul>
成果達成に資する取組	学習会、交流会、NPOフェスタの開催し、市民活動の活性化に寄与した。また、ホームページをリニューアルし、メールマガジンを配信するなど、市民活動情報の効率的・効果的な発信に努めた。	

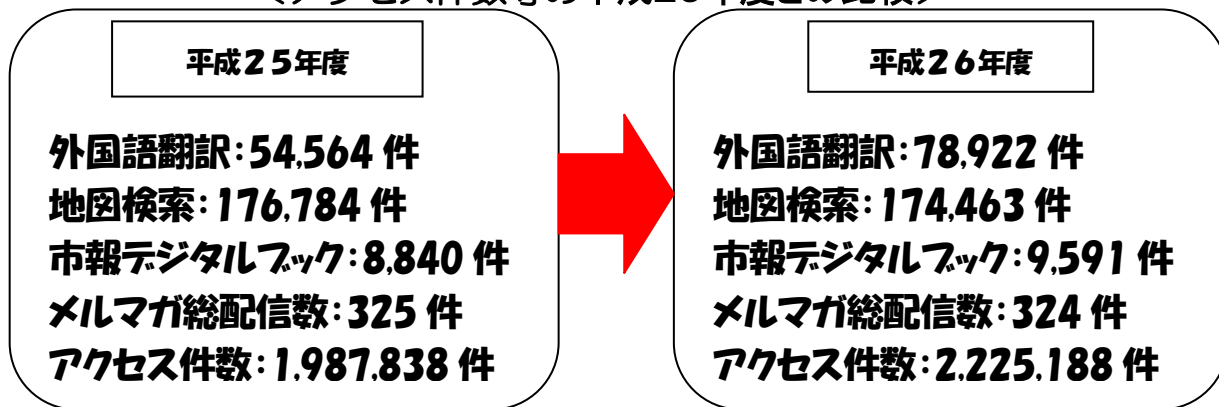
＜NPOフェスタの様子＞



No.18 ホームページ機能の充実 【秘書広報課】

取組の概要	市ホームページのさらなる充実を図り、ライフスタイルの多様化や国際化に対応したわかりやすい情報が、容易に入手できるようにする取組。	
26年度の年度計画	市ホームページの拡張性の検討 ・携帯アプリ「小平トピックス」の構築 ・市ホームページ内の各ページにアンケート機能を付加する	
26年度末の進捗状況	・スマートフォンアプリ「小平トピックス」を構築し、26年10月より運用開始 ・ホームページアンケート機能付加を実施に向け構築準備 ホームページリニューアル検討会(全課を対象)を2回実施し、周知を図った。	
成果指標の達成状況	成果指標	アクセス件数：(目標) 220万件以上/年
	26年度実績	アクセス件数：2,225,188件
成果達成に資する取組	スマートフォンアプリ「小平トピックス」を構築し、26年10月より運用開始	

＜アクセス件数等の平成25年度との比較＞

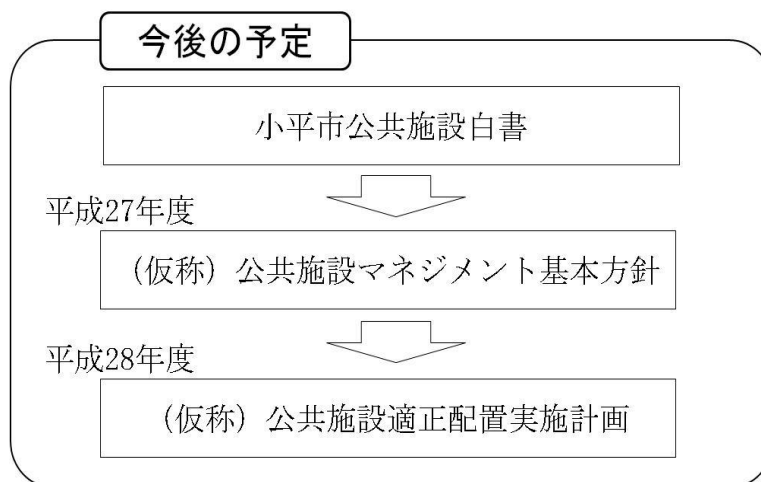
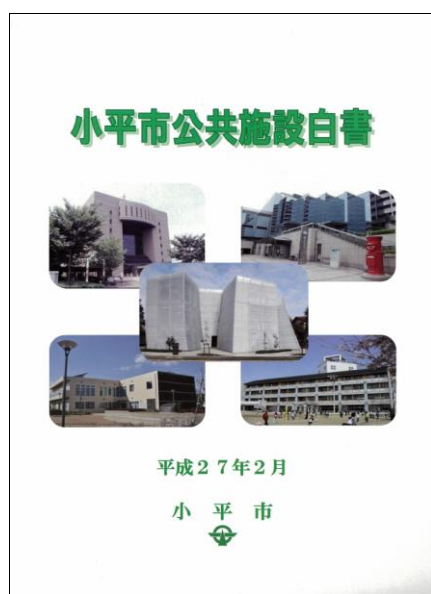


スマートフォンアプリ  
「小平トピックス」  
画像イメージ

## No.52 公共施設に係る組織横断的なマネジメント体制の構築に向けた検討

### 【行政経営課】

取組の概要	公共施設に対する市民ニーズの変化等に適切に対応し、全庁的な観点から、公共施設に関する情報や意思決定の一元化を行うため、組織横断的なマネジメント体制の導入に向けた検討を行う取組。	
26年度の年度計画	「小平市公共施設データ集」などの分析・課題整理を行い、「公共施設白書」を作成する。	
26年度末の進捗状況	当初予定どおり、全庁的な観点から「小平市公共施設白書」を作成、発行した。また、執行体制としては、平成23年度からの部間連携会議に加え、平成26年度から企画政策部行政経営課内に施設マネジメント担当を設置するとともに、都市建設部たてもの整備課の技師を兼務させる体制を整えた。	
成果指標の達成状況	成果指標	「(仮称)公共施設マネジメント基本方針」の策定 (目標)(27年度末までに)策定
	26年度実績	「小平市公共施設白書」を作成
成果達成に資する取組	「小平市公共施設白書」において、市における公共施設の現状及び課題等を明らかにすることによって、平成27年度に策定予定の(仮称)公共施設マネジメント基本方針の基礎資料となった。	



【参考2】 予定よりも遅れている取組一覧（10項目）

No	項目名	平成 26 年度末 進捗状況	要因と今後の対応
2	庁内等における協働推進体制の充実	協働事業のフォローアップ支援事業については具体的な成果につながったが、目標としていた、市民講演会の参加者数(年間100人以上)を達成できなかった。	<p>【要因】 開催日に他の行事が重なるなど、市民の参加が困難であったため。</p> <p>【今後の対応】 市民向け講演会の開催時期、回数等を見直し、多数の方に参加していただけるよう努める。</p>
9	協働事業の推進 (学校支援ボランティアの推進)	コーディネータースキルアップ講座は当初予定を上回って実施し、ボランティア養成講座は各校のニーズに応じて活発に開催された。成果指標に掲げるボランティアの参加人数及び活動時間には達しなかった。	<p>【要因】 コミュニティースクール、授業支援、環境支援などの実施状況により、人数のカウントに変動があることによる。</p> <p>【今後の対応】 引続きコーディネータースキルアップ講座やボランティア養成講座を実施し、地域活性化や学校の負担軽減を図る。</p>
12	地域コミュニティの形態や期待される役割等についての検討	学園西町地区においては、地域連絡会の中で、今後の方向性に向けた意見なども多く出され、また小学校と町会が交通安全教室を共催するといった連携もみられるが、学園西町地区以外については、地域連絡会の設置に向けて連携等を模索中。	<p>【要因】 地域連絡会を設置することなどに関する意識を高めていくことに時間を要するため。</p> <p>【今後の対応】 学園西町地区における取組を推進することにより、他の地域における同様の取組へとつなげる。</p>
13	自治会等に対する支援のあり方の検討	学園西町地区地域連絡会は回を重ねるごとにつながりが強化されており、自治会懇談会でも活発な意見交換が行われているが、自治会等への加入率について、前年度末の加入率を維持できなかった(0.5%減少)。	<p>【要因】 加入世帯数に大幅な変化はないが、人口増加などにより、相対的に加入率の減少につながったため。</p> <p>【今後の対応】 地域連絡会と自治懇談会を継続するなど、モデル地区における地域自治の取組を通して、一層の地域の活性化と地域力の創造を図ることで、結果として、自治会の活性化により、加入率を改善していく。</p>
21	組織目標の管理体制の推進	組織目標の設定及び中間進捗状況調査を予定どおり実施し、組織目標の達成に向けた適切な進捗管理により、90%の組織目標が達成された(残りの10%は一部未達成)が、目標の95%には達しなかった。	<p>【要因】 各組織で着実に取組は進めているものの、設定した数値目標に届かなかったことなどによる。</p> <p>【今後の対応】 組織としての目標を、構成する職員に対して、より一層の周知徹底を図るとともに、制度運用において課題等が明らかになった場合には、適切な対応を図る。</p>



26	事業仕分けの実施	「市としての対応方法」の実施率は、前年度より上がっているが、次回実施に向けた検討については、時期、方法等を模索中である。	<p>【要因】 外部評価についての検討を中心に進めており、事業仕分けの次回実施に向けた検討については時期、方法等を模索中。</p> <p>【今後の対応】 引き続き、「市としての対応方法」について着実に実施するよう努めるとともに、次回実施に向けた検討を進める。</p>
33	介護保険料の収納率向上対策の実施	当初計画した滞納整理の計画は順調に行い、現年度分については前年度並みの収納率を確保しているが、滞納繰越分は数値目標を達成できなかった。	<p>【要因】 滞納繰越分である24年度、25年度の介護保険料が事業計画の改定により金額が大幅に上昇したため。</p> <p>【今後の対応】 滞納整理では一定の効果が現れているため、引き続き効果的な滞納整理を行うよう努める。</p>
43	小平市文化振興財団の経営改善	インターネットでの施設予約・チケット販売の開始により、事務効率化、利用者の利便性の向上が図られ、効果的な経営改善につながったが、成果指標である市民文化会館の利用者数を達成できなかった。	<p>【要因】 中ホールの舞台照明工事のため。</p> <p>【今後の対策】 インターネット予約等の利用実績や利用者の意見を踏まえて検証を行い、引き続き利用者の利便性の向上を進める。</p>
44	小平市社会福祉協議会の経営改善の要請	会員数増に向けた取組を進めているものの、今のところ思うような成果が得られず、会員数は減少している。	<p>【要因】 内部委員会を設けて会員数増に向けた意見は出ているものの、具体化には至っていないため。</p> <p>【今後の対応】 小平市の地域性に合わせた独自の勧誘、また、会員にとって魅力のある活動の実施を要請する。</p>
45	小平市シルバー人材センターの経営改善の要請	全戸配布したPRチラシの影響により、一般家庭からの除草、植木の剪定事業の契約は増加しているが、自主事業の主であるリフォーム事業については、今年度は減少となった。	<p>【要因】 リフォーム事業は天候などに左右されやすく、前年度が大きく増加したため。</p> <p>【今後の対応】 PRチラシの全戸配布は効果が現れていることから、継続して事業PRに努めるよう促す。</p>

## 2 各プログラムの平成 27 年度当初計画

各プログラムについて、第 2 次行財政再構築プランに設定されたスケジュール・成果を達成するよう、平成 27 年度当初計画を設定しています。その中で、平成 27 年度に新規の取組を予定しているプログラムの一覧を以下のとおり例示します。

### 【参考】平成 27 年度に新規の取組を予定しているプログラム（8 項目）

No	項目名	平成 27 年度新規事項
7	協働事業の推進(スポーツボランティアの育成)	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えたスポーツボランティア研修会の実施
8	協働事業の推進(安全安心まちづくりの推進)	美容師の組合との災害時等における応援協定結
18	ホームページ機能の充実	ごみ分別スマートフォンアプリケーションの構築
24	市民へのアンケート調査の実施	平成28年度実施予定の「小平市政に関する世論調査」における、調査項目の検討
31	市内産業の育成	プレミアム付き商品券事業の実施
48	研修・人材育成策の充実	女性職員の活躍を支援することを目的とした職員研修の実施
52	公共施設に係る組織横断的なマネジメント体制の構築に向けた検討	(仮称)公共施設マネジメント基本方針の策定
61	内部情報システムや住民情報システムの再構築	児童福祉・貸付システムの再構築